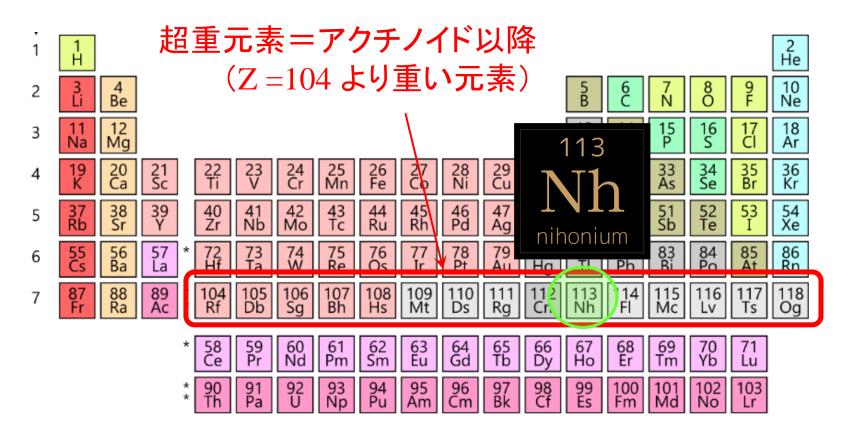
# 超重元素の世界 ~ニホニウムの先にあるもの~

## 萩野浩一 京都大学大学院理学研究科





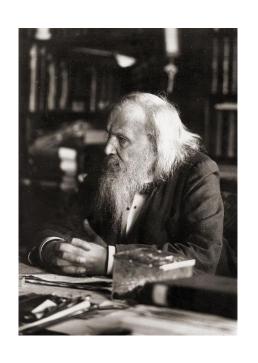


### 元素の周期表(1869年)



International Year of the Periodic Table of Chemical Elements

今年(令和元年)は周期表 150周年の記念の年 (国際周期表年)



メンデレーエフ (1834-1907)





# 超重元素の世界 ~ニホニウムの先にあるもの~

## 萩野浩一 京都大学大学院理学研究科



### 今日お話ししたいこと

- 1. はじめに:超重元素について
- 2. 核融合反応と超重元素
- 3. 今後の展望:第8周期元素に向けて
- 4. 今後の展望2:安定の島に向けて
- 5. おわりに



このロゴマークに書かれている元素は何?

### このロゴマークに書かれている

元素は何?



Md (Z=101) メンデレビウム

$$H(Z=1)$$

C(Z=6)

N(Z=7)

O(Z=8)

1876?

1867?

周期表

1869年



パリ万博(1867年)

メンデレーエフの名前 (ロシア文字)? Менделеев

CHON?

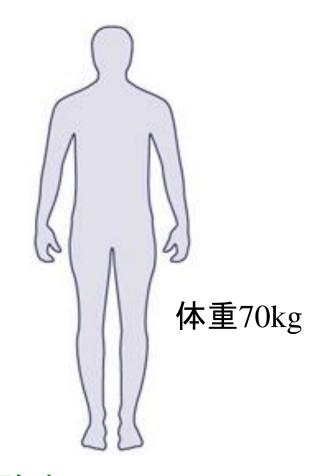
NOCH?

どうも違う・・・

### このロゴマークに書かれている 元素は何?



Md (Z=101) メンデレビウム



酸素 (O) 43 kg 炭素 (C) 16 kg 水素 (H) 7 kg 窒素 (N) 1.8 kg カルシウム (Ca) 1.0 kg

## ところで.....

# メンデレーエフの子孫がもしかしたら日本に?

メンデレーエフの息子 ウラジミール



- ✓ ロシア海軍の軍人
- ✓ 1891年ころ長崎に滞在

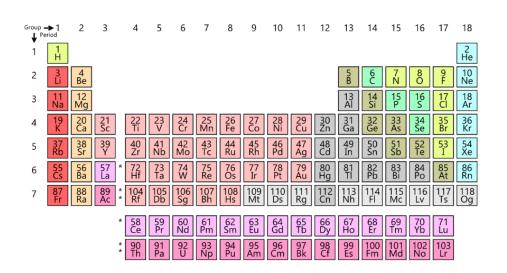




秀島タカとフジ ウラジミールの 奥さんと娘(?)

# Q. 元素は何種類くらいあるで しょうか?

- 1. 約90種類
- 2.118種類
- 3. よくわかっていない



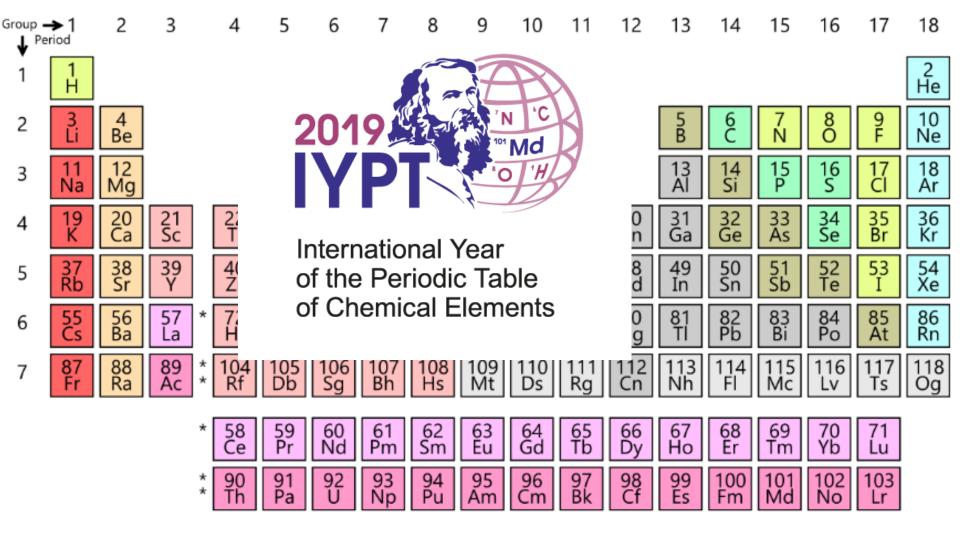


International Year of the Periodic Table of Chemical Elements

# Q. 元素は何種類くらいあるで しょうか?

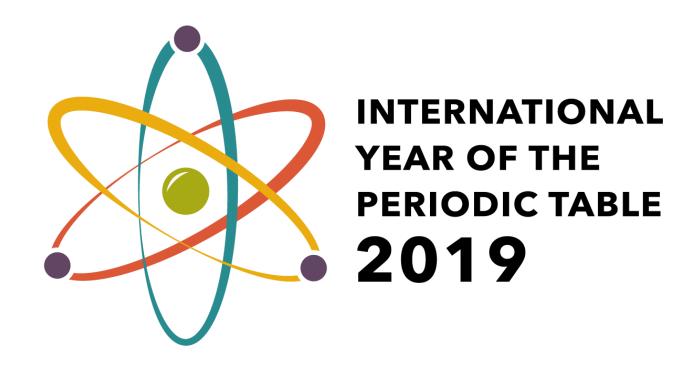
- 1. 約90種類
- 2.118種類
- 3. よくわかっていない

実は全部正解



- 1. 約90種類 → 自然にある元素の種類
- 2. 118種類 → これまでに確認された元素の種類
- 3. よくわかっていない → 何種類まであるのかはまだ謎

### 何が元素の存在限界を決めているのか?



### 考えなければならない可能性:

- ✓ 原子の中の電子軌道
- ✓ 原子の中の原子核の安定性

### 何が元素の存在限界を決めているのか?



考えなければならない可能性:

# まず

- ✓原子の中の電子軌道
- ✓ 原子の中の原子核の安定性

#### 水素様原子

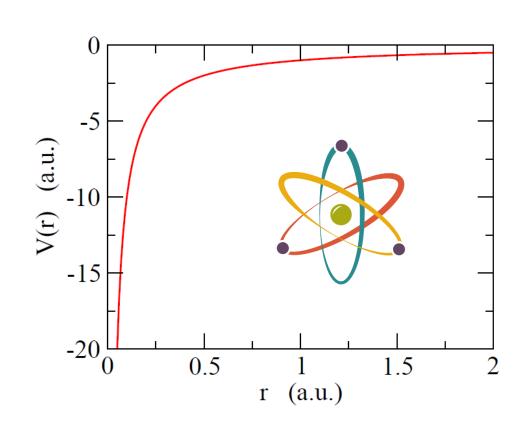
$$V(r) = -\frac{Ze^2}{r}$$

### 1S 状態

$$E_{1S} = -Z^2 \cdot \frac{me^4}{2\hbar^2}$$

$$Z \rightarrow$$
大、 $E_{1s} \rightarrow$ 小

$$\langle r \rangle \rightarrow \prime$$



水素様原子

$$V(r) = -\frac{Ze^2}{r}$$

#### 1S 状態

$$E_{1S} = -Z^2 \cdot \frac{me^4}{2\hbar^2}$$

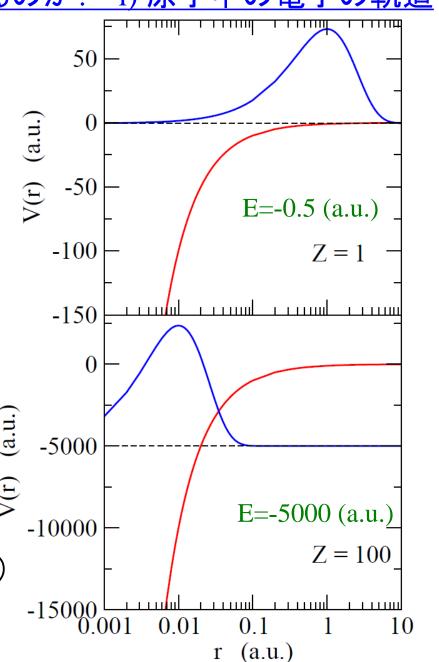
$$Z \rightarrow$$
大、 $E_{1s} \rightarrow$ 小

$$\langle r \rangle o \prime$$

$$\langle p \rangle \rightarrow \mathsf{T}$$
 (不確定性原理)



相対論的効果



#### 水素様原子

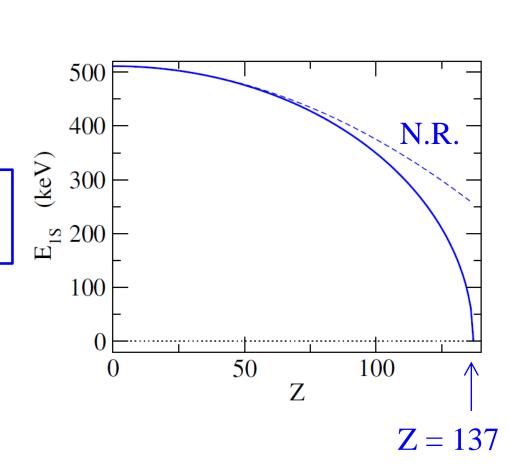
$$V(r) = -\frac{Ze^2}{r}$$

1S 状態(ディラック方程式)

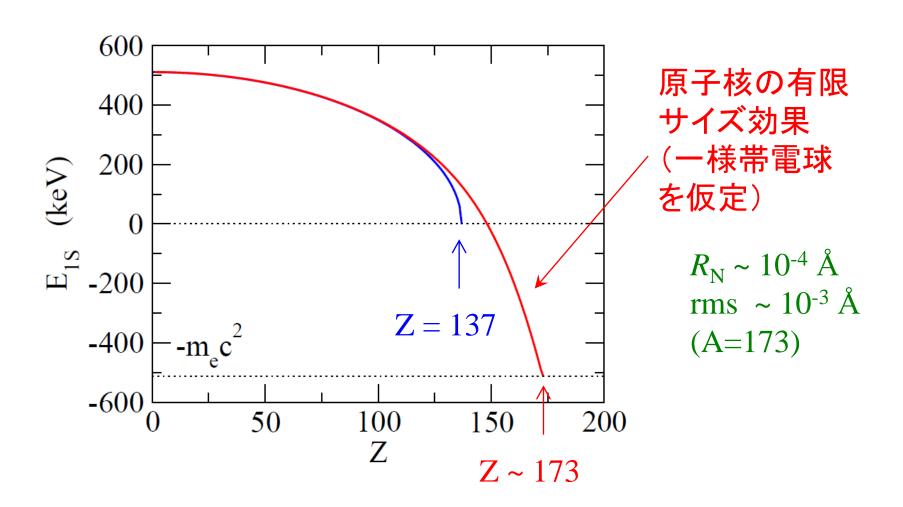
$$E_{1S} = mc^2 \sqrt{1 - (Z\alpha)^2}$$

$$\alpha = \frac{e^2}{\hbar c} \sim \frac{1}{137}$$

Z>137 → 解は存在せず (真空崩壊)



### 水素様原子



cf. W. Pieper and W. Greiner, Z. Physik 218 (1969) 327

### 何が元素の存在限界を決めているのか?



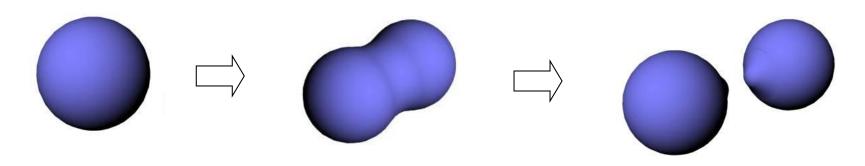
考えなければならない可能性:

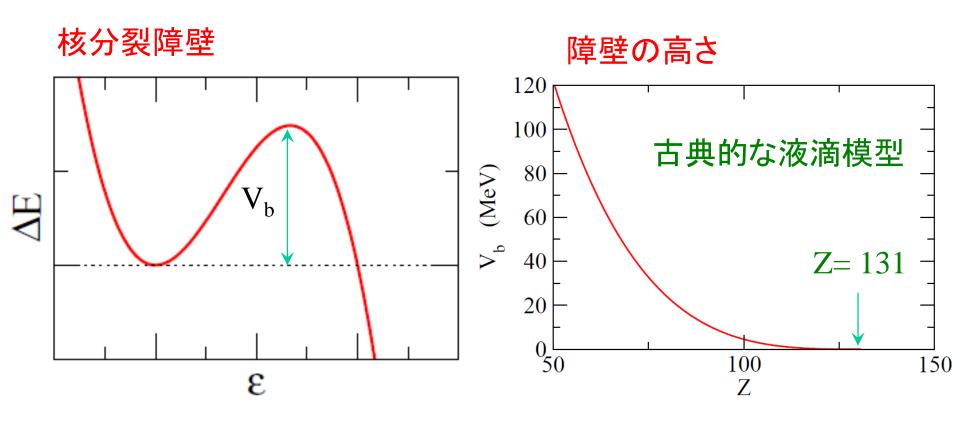
# 次に

- ✓ 原子の中の電子軌道
- ✓原子の中の原子核の安定性

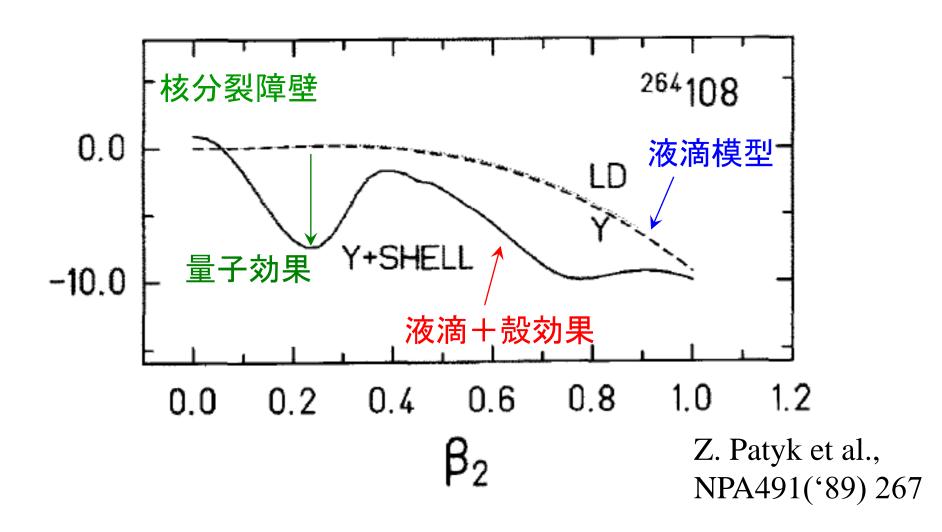
### 何が元素の存在限界を決めているのか? ii) 原子中の原子核の寿命

重い原子核 → 核分裂



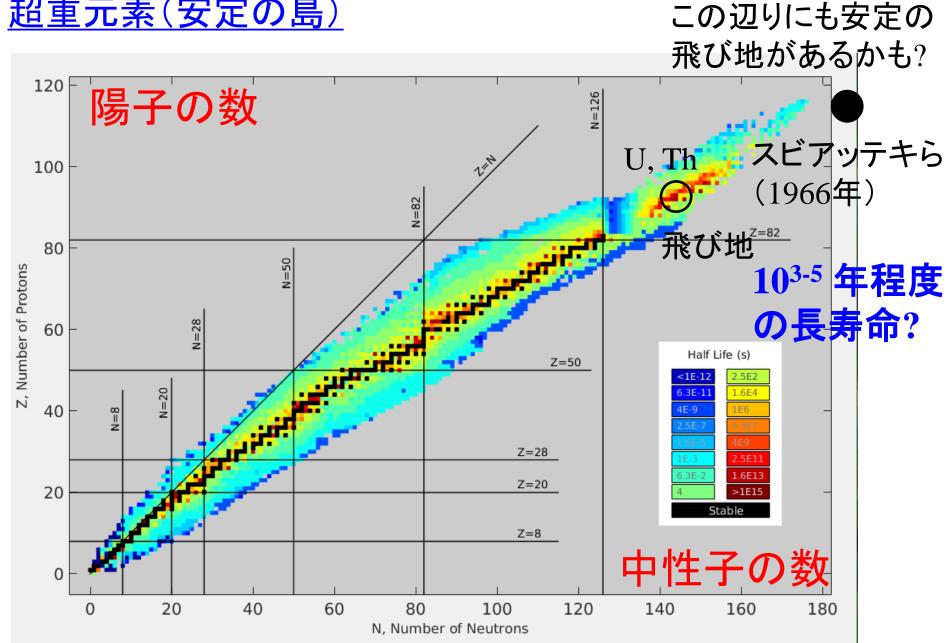


### 何が元素の存在限界を決めているのか? ii) 原子中の原子核の寿命

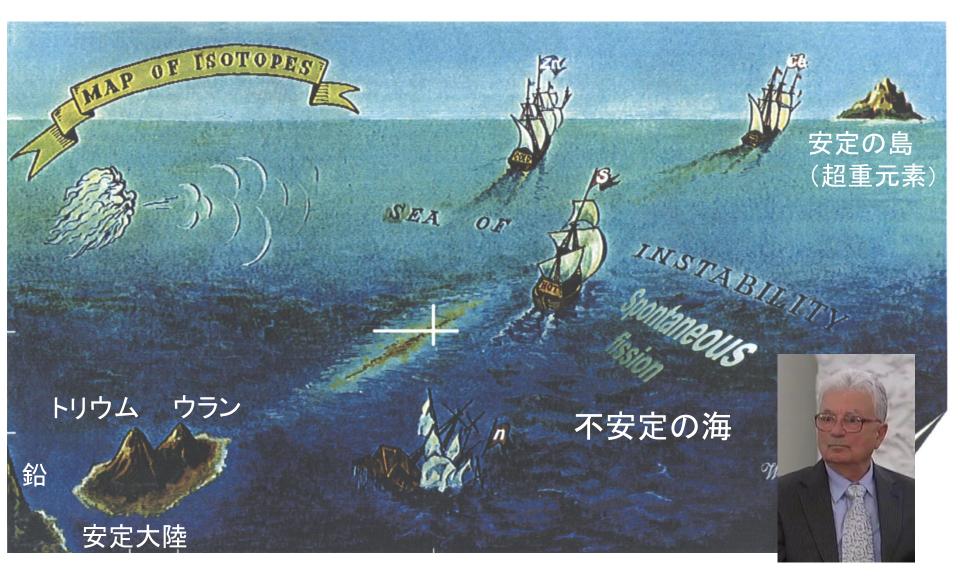


量子力学的効果(魔法数の効果)により核分裂障壁が 高くなり原子核が安定化する

### 超重元素(安定の島)

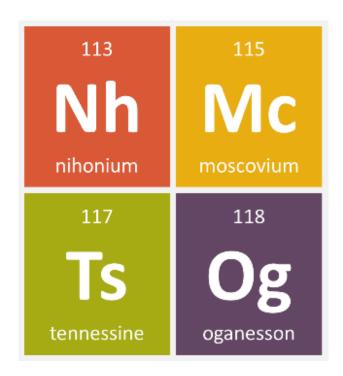


### 安定の島(超重元素)を目指して

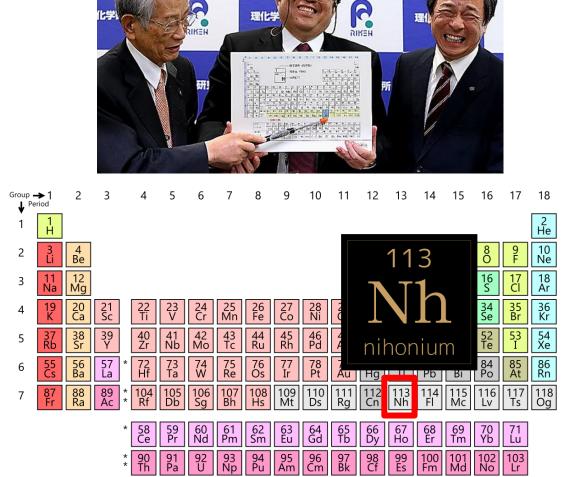


描画はYuri Oganessian 氏

### 113番元素ニホニウム Nh



2016年11月



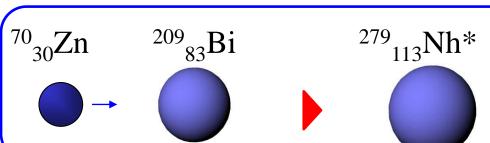
RIKEN

理化学研究所

RIKEN

RIKEN

理化学研究所



重イオン核融合反応

Wikipedia

### ところで



中国

「国家語言委員会」が新しい漢字を制定

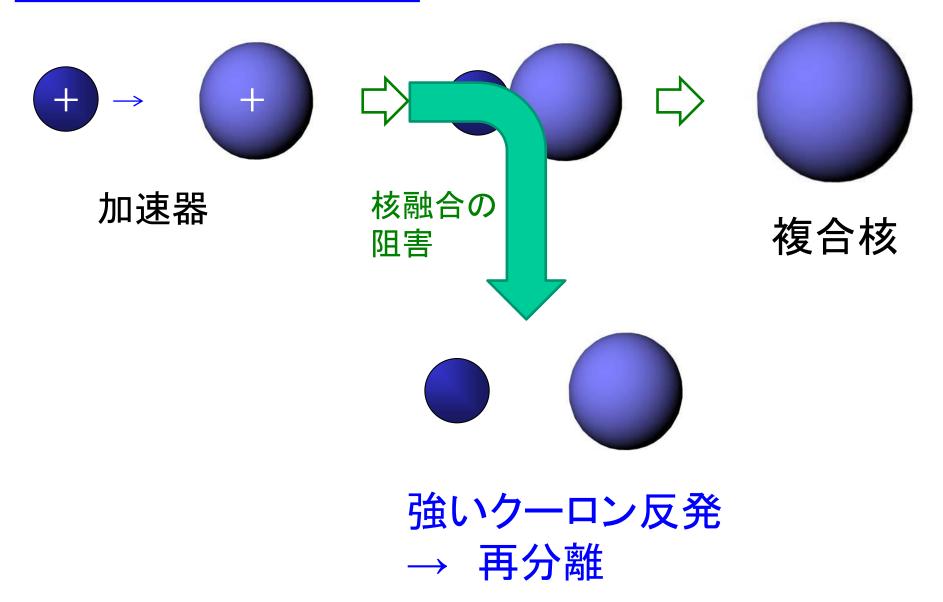
石田さん:周期表に名前が載っています!

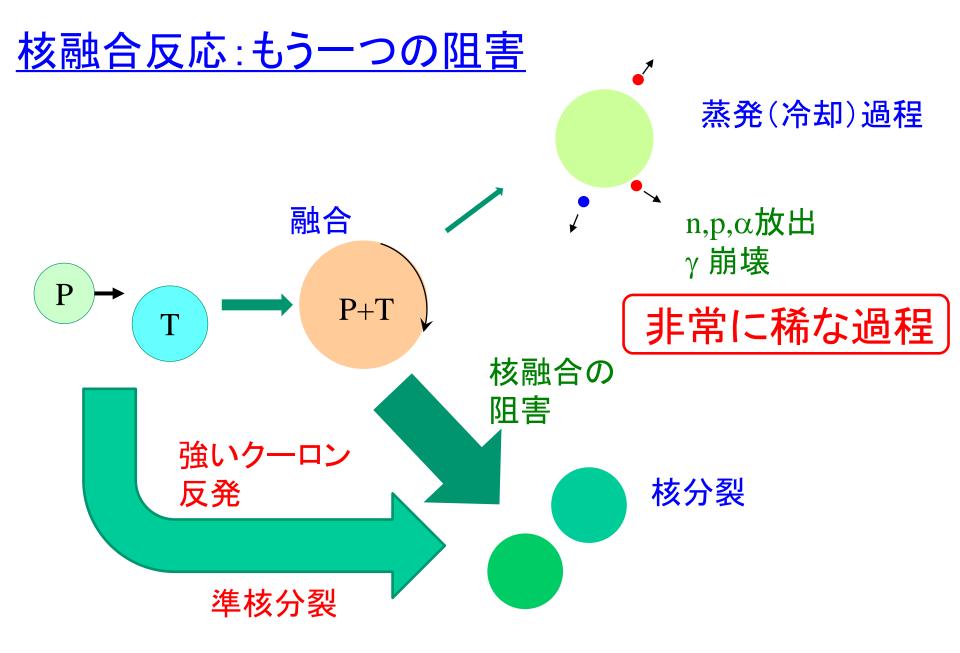
金田さん:惜しかったです!

115番がテネシンだったら周期表に

名前が載っていました

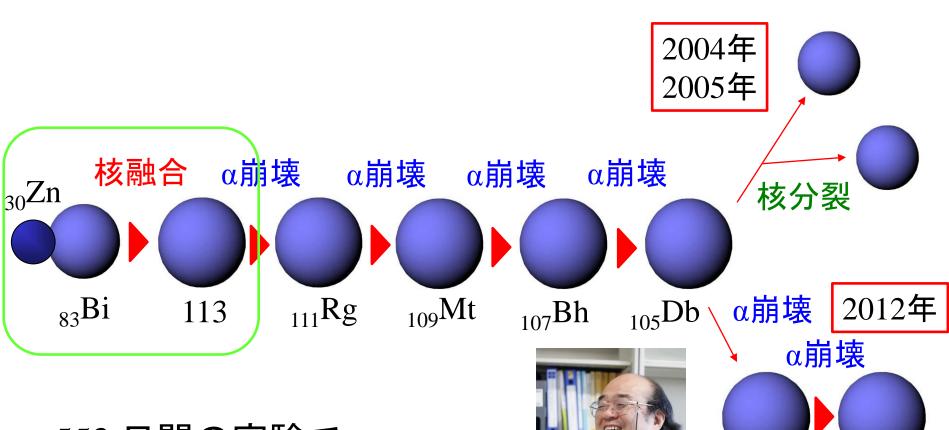
### 核融合反応:阻害現象



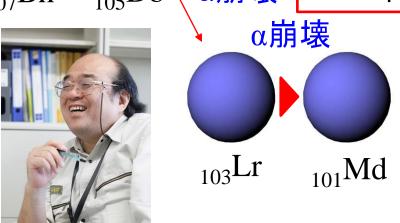


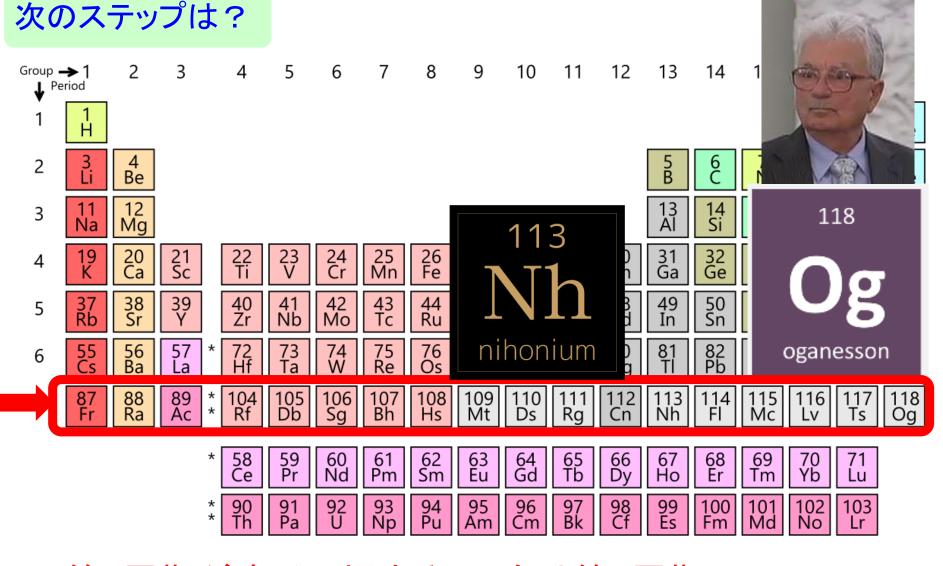
### 新元素113番: ニホニウム(Nh)

$$^{70}$$
Zn (Z=30) +  $^{209}$ Bi (Z=83)  $\longrightarrow$   $^{278}$ 113 (Nh) + n



553 日間の実験で たったの3例の発見





第7周期がすべて埋まる → 次は第8周期へ! 理研では、119番元素の探索中

### 第8周期元素の生成

✓ 反応系の検討が必要(<sup>48</sup>Ca が使えない)

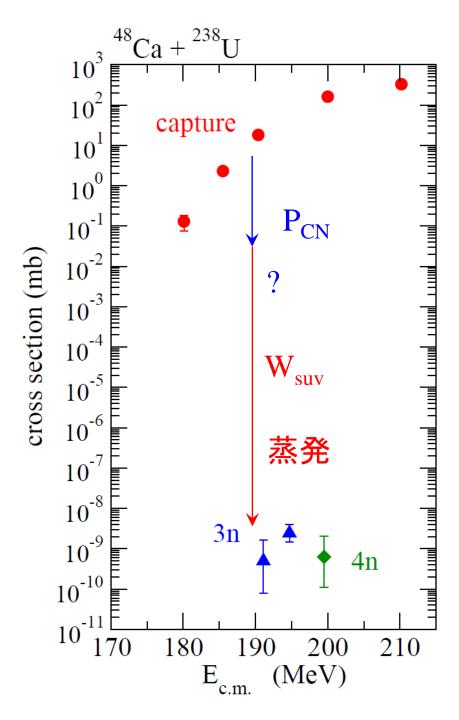
理論物理学としての課題

超重元素の生成: 非常に稀な過程

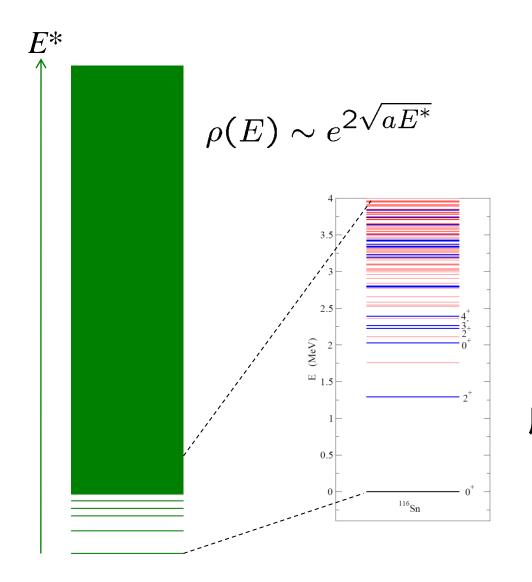
→ 大きな理論的不定性

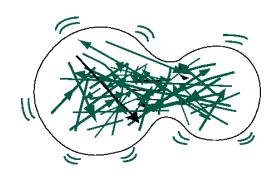
### 挑戦的課題:

いかに理論的不定性を小さくして 信頼できる理論予言が出来るか?



### 原子核の摩擦と重イオン核融合反応





核反応の途中で複雑に励起

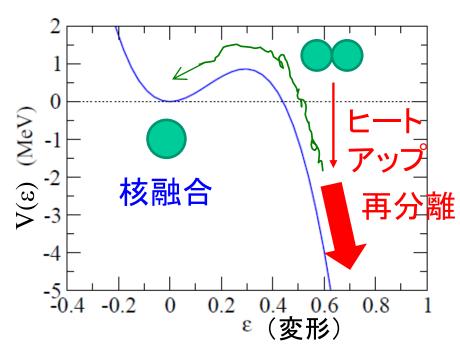


原子核の内部自由度:「環境」 「内的環境自由度」



原子核のスペクトル

### ランジュバン法



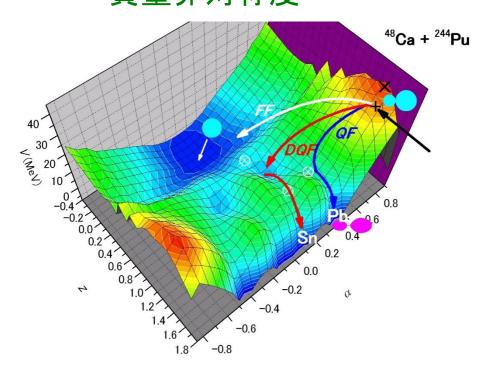
### 熱的拡散

ランジュバン法(ブラウン運動)

$$m\frac{d^2q}{dt^2} = -\frac{dV(q)}{dq} - \gamma\frac{dq}{dt} + R(t)$$

#### 多次元化

- ・フラグメント間距離
- •フラグメントの変形
- 2つのフラグメントの 質量非対称度



Y. Aritomo, K. Hagino, K. Nishio, and S. Chiba, PRC85 (2012) 044614

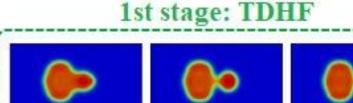
### 超重元素反応の新モデル: TDHF + Langevin アプローチ

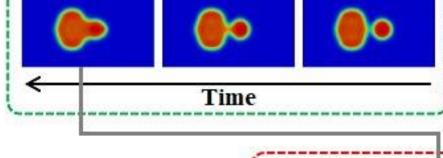
K. Sekizawa and K.H., PRC99 (2019) 051602(R)

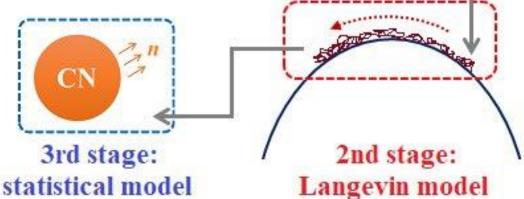


#### TDHF+Langevin:

a new hybrid model of fusion reactions for superheavy elements







System	CN	$R_{\min}$	$P_{\mathrm{fus}}$
	(fm)		$(\times 10^{13})$
$^{48}\text{Ca}+^{254}\text{Fm}$ $^{54}\text{Cr}+^{248}\text{Cm}$	$^{302}120$	12.93	302
$^{51}V+^{249}Bk$ $^{48}Ca+^{257}Fm$	$^{300}120$	12.94	0.461
$^{48}\mathrm{Ca}+^{257}\mathrm{Fm}$	$^{305}120$	12.94	1.82

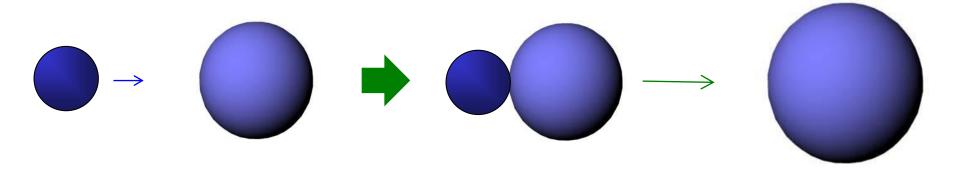
48Caはどのように特別か?

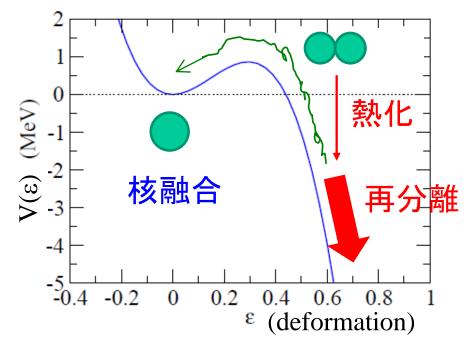
cf. TDHF=時間に依存する 平均場近似

平均場近似を超える効果? (量子トンネル効果)

長谷川、谷村、萩野

### <u>理論物理学としての課題</u>





### 熱的拡散

→ ランジュバン法

✓ どのように熱化するのか?

「摩擦の量子論」

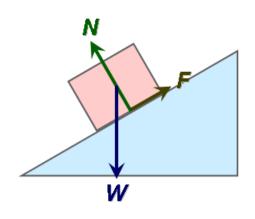
c.f. 量子摩擦を考慮した トンネル確率

M. Tokieda and K.H., PRC95 ('17) 054604

✓ 拡散に対する量子効果?

M. Tokieda and K.H., Ann. of Phys. 412 (2019)

### 摩擦の量子論



物体が止まって熱が発生

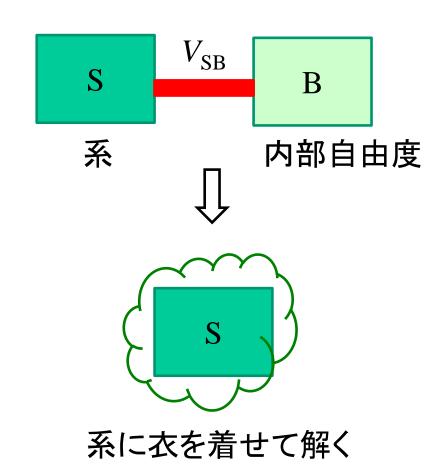


エネルギーが物体から内部 自由度(原子)に転化

### 量子ランジュバンへ



#### 量子力学では:



最近、衣を着せずに解く方法を開発

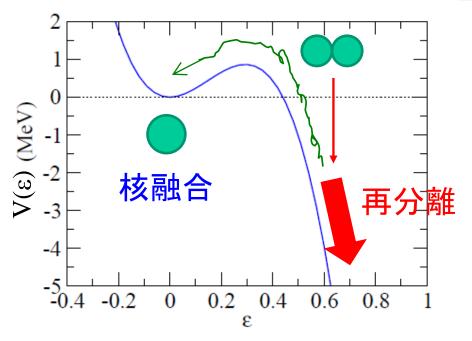
M. Tokieda and K.H.,

Ann. of Phys. 412 ('19) 168005

### 核融合反応と非平衡統計力学:温度勾配の下での Langevin 動力学

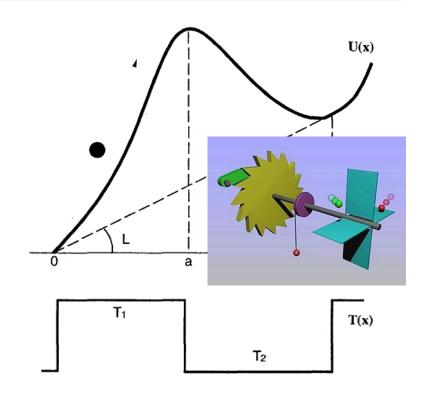
### ▶ 超重核合成反応

### ▶ 分子モーターに対する数理モデル



熱的拡散→ランジュバン法 (ブラウン運動)

ゆらぎのダイナミックス = 非平衡統計力学

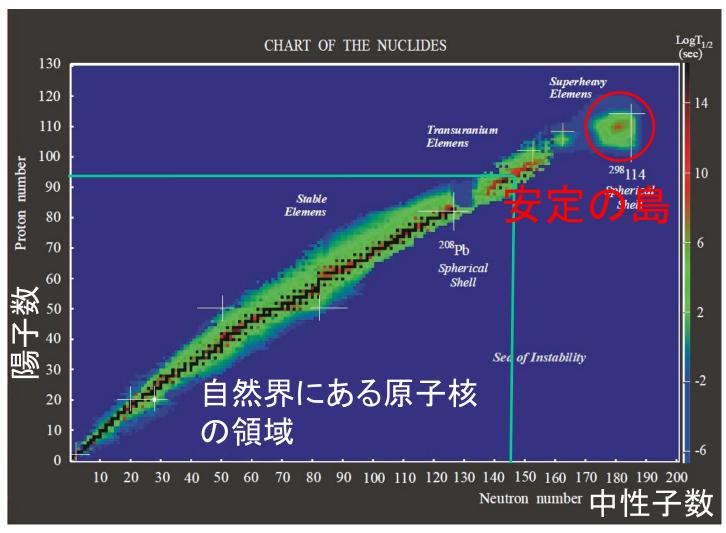


松尾美希、物性研究 73 ('99) 557

温度勾配→一方向の運動

非平衡統計力学の一般的問題として超重核生成反応をとらえ直す

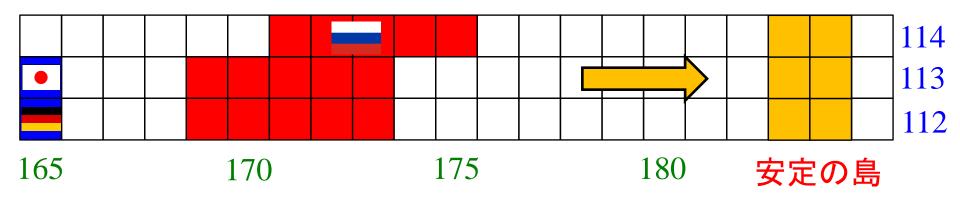
### もう一つの重要な課題



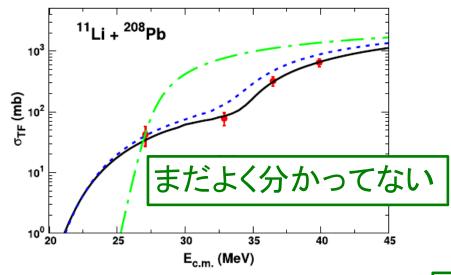
Yuri Oganessian

安定の島にどのように到達するか?

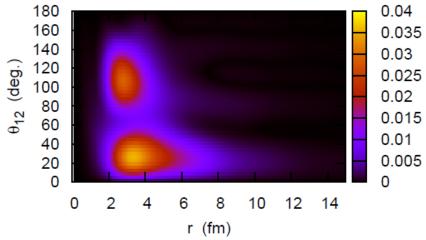
#### 中性子過剰核の核融合反応



#### 中性子過剰核ビームが必須→反応ダイナミックス?



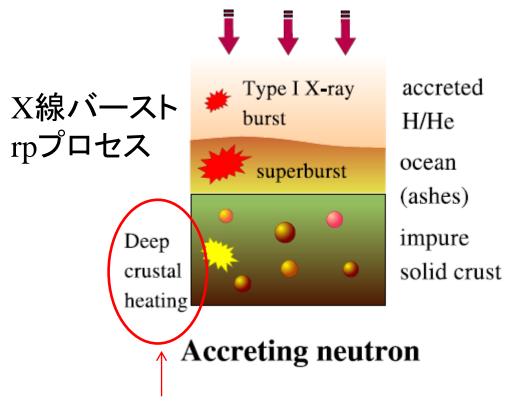
K.-S. Choi, K. Hagino et al., Phys. Lett. B780 ('18) 455

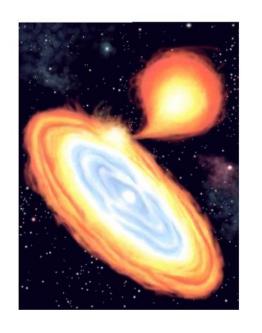


K.H. and H. Sagawa, PRC72('05)044321

中性子過剰核の構造の理解も必要

# 質量降着を伴う中性子星で起こる中性子過剰核の核融合反応



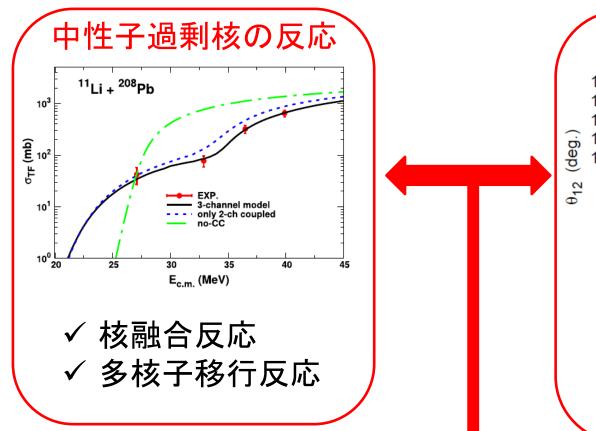


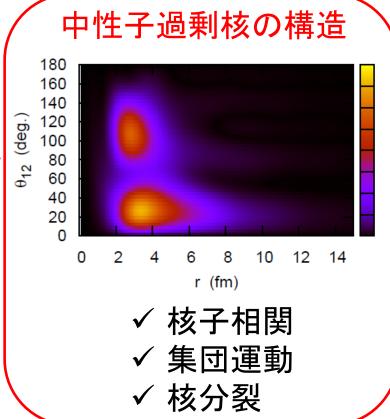
中性子過剰核の核融合反応

<sup>24</sup>O + <sup>24</sup>O, <sup>28</sup>Ne + <sup>28</sup>Ne など

X線連星の静穏期 におけるX線の起源

N. Chamel and P. Haensel, Living Rev. Relativity, 11 ('08) 10.



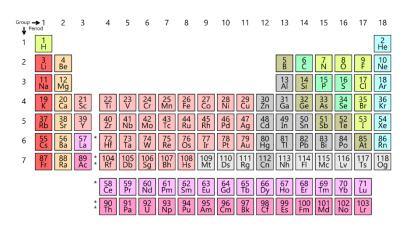


中性子過剰核を軸にした超重元素の物理を展開する

### おわりに 超重元素:強い電場の環境下での量子多体系

### 超重元素の核物理 超重元素の化学や物性

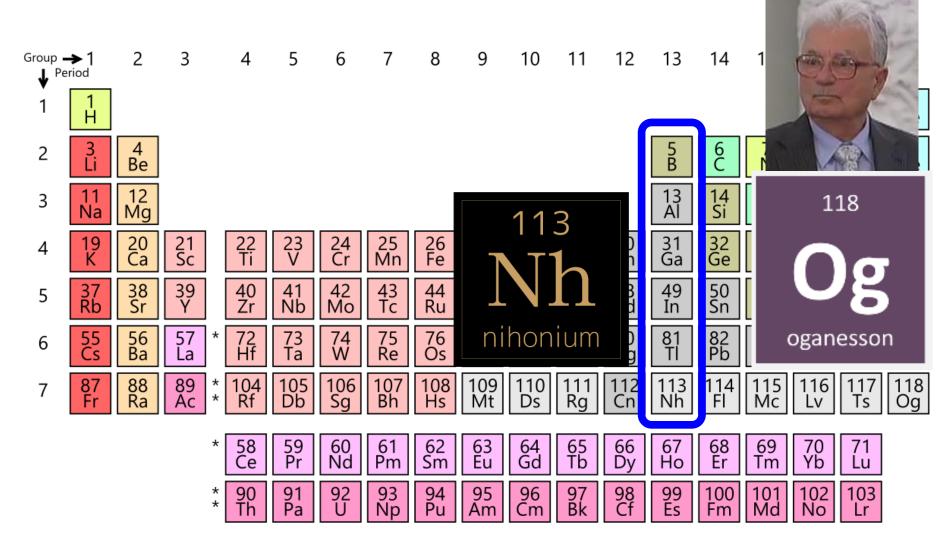




反応ダイナミックス

- ✓摩擦の量子論
- ✓中性子過剰核

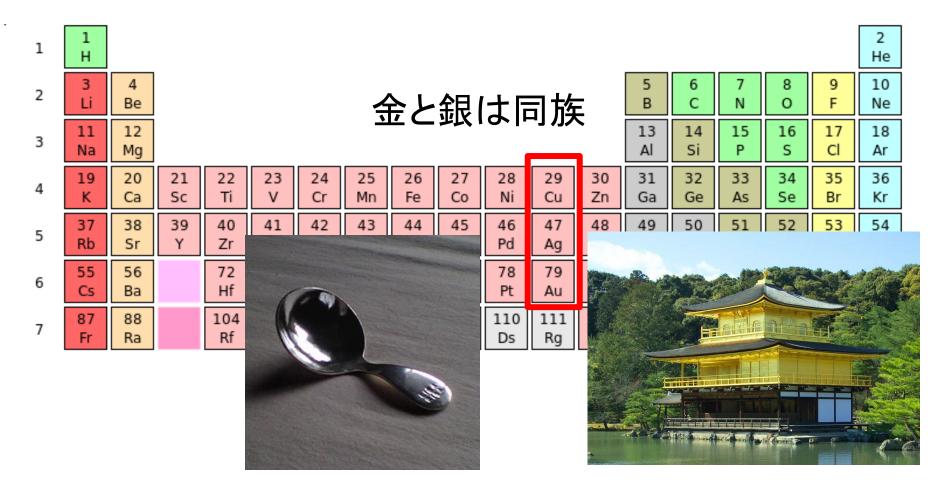




それぞれの超重元素は周期表上でどこに置くべきか?

cf. 相対論的効果

### 相対論的効果で有名な例:金の色



### 相対論的効果がなければ金の色は銀みたいだった!

- → 超重元素では相対論的効果がますます大
- → 周期表が乱されるかもしれない?

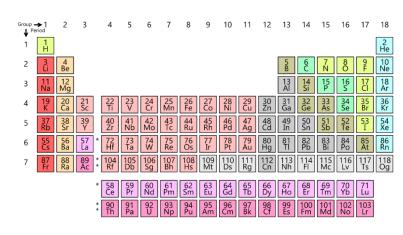
### おわりに 超重元素:強い電場の環境下での量子多体系

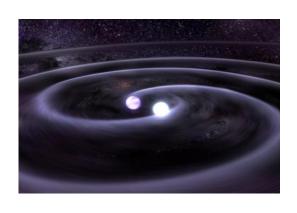
### 超重元素の核物理

### 超重元素の化学や物性

### 宇宙物理







- 反応ダイナミックス
  - ✓摩擦の量子論
  - ✓中性子過剰核



- ✓ 核物理(不安定核)
- ✓ 元素の起源
- ✓ キロノバ

核物理、化学、宇宙物理などの分野融合による超重元素の研究